



「せみの声 響く夏の日 過ぎていく」「夏休み あっという間に 過ぎていく」
夏休みに入って10日余りが過ぎ、あっという間に8月に入りました。
みなさん、夏休みをどう過ごしているのでしょうか。一人一人が「自分を大切に」(命や時間など)、そして「日々の目標をもって」、今年の夏を有意義なものにしてほしいと願っています。

異常気象新時代 命に関わる危険な暑さ

テレビや新聞などで、最近よく見たり聞いたりする言葉です。連日の猛暑日や豪雨災害、迷走台風など、身の安全を危うくする、これまでになかったような大変な気候が続いています。

東中学校では、体育館の南外壁に大きな葦簀(よしず)を掛けたり、大型の扇風機を購入して活用するなど、集会時の熱中症防止に努めています。また部活動では、その日の状況に応じて水分・塩分の補給などを適宜行っています。

ぜひ、各家庭でも保護者の責任の下に、早寝・早起き・朝ご飯や望ましい食習慣による、十分な栄養と睡眠時間など、規則正しい生活習慣の定着をお願いします。また、日々変わる天候や気象に対しても、天気予報をこまめに確認するなど、中学生としてできる「危険予測能力」と「危険回避能力」を身に付け、「自分の命は自分で守る」意識や力を高めてください。



銀賞を受賞

7月23日(月)に開催された第63回宮崎県吹奏楽コンクールのAパートの出場した吹奏楽部(36人)が銀賞を受賞しました。

皆様の応援本当にありがとうございました。11月の東児湯や高鍋町の音楽祭などに向け、みんなで心と力を合わせて、さらに練習に励みます。



募金ありがとう

7月の西日本豪雨災害の被災者を支援するために、東中学校の生徒会で行った募金活動で合計5,7031円が集まりました。

全額を岡山県倉敷市社会福祉協議会に送金しました。善意をお寄せいただいた東中の生徒・保護者・職員、地域の皆様、誠にありがとうございました。



空きビン・アルミ缶回収

29日(日)早朝に東中校区で回収活動を行い、3年生・保護者の奉仕作業を兼ねて実施しました。中には「東中の皆さんへ。朝早くからおつかれさま。ファイト!」と温かいメッセージ付きの物もありました。地域の皆様のご協力に心から感謝いたします。



8月 平和について考える

日本人にとって、8月は平和の尊さを確かめる大切な月です。1945年(昭和20年)8月6日の広島への原爆投下、9日の長崎への原爆投下、そして15日の終戦など、忘れてはならない歴史があります。この月は、テレビなどでも平和について考える番組が放送されます。東中学校では、2年生が今年も7月に修学旅行で広島を訪れて、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さについて学んでいます。

また昭和20年には、高鍋町でもアメリカ軍による攻撃が行われ、高鍋駅付近(蚊口浦)でも空襲による大きな被害がありました。

時代とともに戦争の体験が風化されていく中、その悲惨さや平和の尊さを、私たちは世代から世代に受け継いでいかなければなりません。



8月は人権啓発強調月間です

宮崎県では毎年8月を「人権啓発強調月間」としています。夏休みやお盆休みなどで親類や他の人たちとふれあう機会が多くなるこの時期に、普段よりも人を思いやる、人権を尊重することの大切さについて考えてみましょう、という趣旨で設定されているものです。毎日の自分の身近なところから見つめてみましょう。

「あなたにもらった おもいやり 次は私が だれかのために」

「聞こう 話そう 分かりあおう 一人ひとりの いいところ」

「ありがとう みんなで使おう やさしい響き ごめんなさい みんなで示そう 謙虚な心」

